

地名を歩く

四十九 上ノ丁



「上ノ丁」のあった伊賀町の順正短大付近

「上ノ丁」という地名は聞いたことのない人が多いのかもしれない。現在は消えてしまった幻の地名なのです。「上ノ丁」は江戸時代から明治の初年まで松山城下にあった町(丁)名の一つなのです。

旧松山藩土国分胤之の「昔夢一班」には「伊賀町」の次に「上ノ丁」が書かれています。巻末の「松山城下之図」や、この図に補筆した幕末の松山御城下の絵図(信野友春著「備中松山城及其城下」)に伊賀谷右岸の「伊賀町」と並行した秋葉山(標高一九〇呎)の南麓に「上ノ丁」が描かれています。現在、順正短期大学がある付近で、頼久寺の東側(裏側)に当たり、「伊賀町」や「頼久寺町」の一部に含まれています。江戸時代の「上ノ丁」は家中屋敷町でした。石川総慶・六万石時代(正徳(一七一〇〜一七一六)享保(一七二一〜一七三六)元文(一七三六〜一七四一)の「松山城絵図」には「上ノ丁」の地名は見えず、秋葉山のふもとに長州寺・梅岩寺・頼久寺より梅岩寺の借地・御前太夫(神官)・明地・矢場・そして頼久寺領・畠などが、また道より谷側には百姓・三軒の家中屋敷と百人組長屋が描かれて、伊賀町の地名が見えているのみ

で、ほとんどが頼久寺領となつていきます。絵図にある梅岩寺や長州寺は石川氏が伊勢亀山へ転封の時移転させたといわれ、その跡地に矢場が設けられたのでしよう。

石川時代のあと、延享元年(一七四四)、伊勢国(現三重県)亀山から入封して頼久寺の東側に家中屋敷を取り立てました。延享元年頃には家中屋敷二・給人屋敷(家臣のうち地方知行あたえられた者)一・棟長屋三が付近にあった(「松山家中屋敷覚」市立中央図書館)のですが、その後(嘉永二・三年頃)一八四九・五〇頃、安政初年頃(五〇四頃)の「上ノ丁」には、北側に矢場と真孝流柔術師範の織田李兵衛とけいこ所、他三人の武士が書かれ、南側には四軒の武士が上げられています。(昔夢一班)。また、慶応年間(一八六五〜六八)頃は、家中屋敷七・世帯数七として、上家中(紺屋川より北の家中屋敷の一つ)に「上ノ丁」を上げていきます(増補版高梁市史)。

矢場では、弓の練習が行われ、幕末頃に大組足軽や同心に弓術を奨励するために、正月には賭博も行われました。また、盆になると盆踊りが行われ、移封して

きた板倉勝澄は、藩士の師弟に団体をつくらせ、赤穂義士などの尚武的な歴史上の事柄をテーマに、黒装束に帯刀、はかま着にたすき姿で円陣をつくって踊る「仕組み踊り」を踊らせ、家中の者には棧敷に敷物を敷かせ弁当持参で見物させました。このように「仕組み踊り」は、盆の行事として嘉永の頃(一八四八〜五八)まで盛んだった(「前掲書」及び「昔夢一班」といわれています)。

「上ノ丁」の町は、天保三年(一八三二)と天保一〇年(一八三九)の大火で類焼していますが、被害の詳しいことは分かっていません。「上ノ丁」は、明治初年(一八六八)までには頼久寺町の一部となり、今では西は頼久寺町、東は伊賀町となっています。「上ノ丁(町)」という町名は、全国各地の城下町に見られる地名なのです。「上」は方向や位置、地位などを表して、「うえ」の意味なのです。例えば高い所・川の上流・陽の出る方・中心に近い方などを示す地名として使われています。「上ノ丁」は下にある「中之丁(町)」に対してつけられたもので、いずれも城下町地名なのです。

(文・松前俊洋さん)

図書館だより 12月

高梁中央図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 2912



一般書
「天地人」を歩く
 ~原作者が旅する智将・直江兼続ゆかりの地~
 火坂雅志:著
 祥伝社

越後から能登、京都、会津、そして米沢へ。全国60カ所のにぼる直江兼続ゆかりのスポットを、多彩なビジュアルで案内。原作者と行く、2009年NHK大河ドラマ「天地人」の舞台。



児童書
崖の上のポニョ
 宮崎駿:監督
 小学館

はじめてみた人間の男子・宗介を好きになった、さかなの女の子・ポニョ。魔法で人間の女の子の姿になり、宗介に会いに行きますが…。宮崎駿監督作品「崖の上のポニョ」のアニメーションブック。

休館日 毎週木曜日の午後
 1日(月), 8日(月), 15日(月), 21日(日), 23日(火)
 【年末年始】12/29(月)~1/3(土)

ちいさいこへのや 図書館2階 14:30から

小学校低学年までが対象で参加無料。親子での参加も歓迎です。

6日(土)	クリスマス会(ボランティアグループ『ふきのとう』)
13日(土)	ビデオ「マッチ売りの少女」 おはなし会(ボランティアグループ『おはなしたまはこ』)
20日(土)	きりがみあそび「牛乳パックのブーツ」
27日(土)	おりがみあそび「おしし」

移動図書館

9日(火)	有漢生涯学習センター前 14:45~15:30 落合雇用促進住宅高梁宿舎前 16:20~16:50
12日(金)	玉川地域市民センター前 11:00~11:30 落合地域市民センター前 13:00~14:00 中国電力社宅前 14:30~15:00 松原地域市民センター前 15:30~16:00
16日(火)	津川地域市民センター前 11:00~11:30 高倉地域市民センター前 13:00~13:30 川面地域市民センター前 14:00~14:30
18日(木)	川上児童館前 14:15~15:15 備中地域局前 15:45~16:45
19日(金)	巨瀬地域市民センター前 10:30~11:00 中井地域市民センター前 13:00~13:30 宇治地域市民センター前 14:30~15:00 落合中二公会堂前 16:00~16:30

成羽図書館

開館時間 9:00 ~ 17:00

☎ 42589



児童書
愛のうたをききたくて
 サラ・デッセン:作, おびかゆうこ:訳
 徳間書店

気軽に結婚と離婚を繰り返す母親のせいで愛を信じることができないレミーは、新しい彼氏をつくっては深入りする前にさよならすることにしていた。そんなレミーの前に、一人のミュージシャンが現れ…。

休館日 毎週月曜日 【年末年始】12/27(土)~1/4(日)

移動図書館「うぐいす号」

2日(火), 16日(火)

午前 9:00~12:00	市営星原住宅→ファミリーハイツ星原→鶴鳴保育園→市営栄町住宅→雇用促進住宅→黒川商店(日名地区)→枝中央地区→成美保育園
午後 13:00~16:00	老人ホーム成羽川荘→成羽・山本地区→小泉・東地区→布寄小学校→中野・迫地区→吹屋小学校→向井商店(坂本地区)→田原保育園